



2026年7月14日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

14,807万kW

13時30分、148,072 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,982万kW

12時、49,815 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

102万kW

23時30分、1,022 MW

◇ 再エネ最大需要比

43.9%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

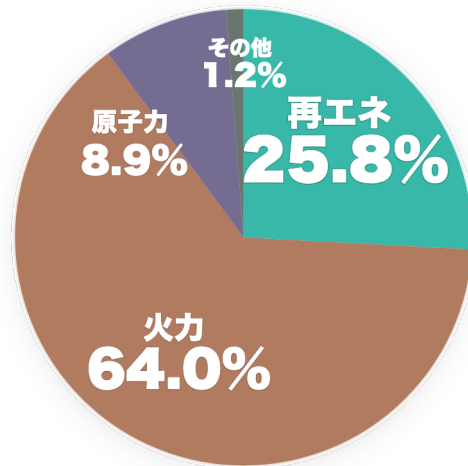
東京

103 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

80.7 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 39.7%

35.6 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

47.4 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:30に4,874万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで39.7%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	25.8%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	746 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,888 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	43.9%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	47.4 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	39.7%	35.6	0.0	送電 8.3
東北	34.8%	109	0.0	送電 80.7
東京	18.7%	156	0.0	受電 103
中部	32.0%	126	0.0	受電 49.9
北陸	35.4%	31.8	0.0	送電 4.2
関西	17.7%	77.8	0.0	受電 58.4
中国	28.2%	62.5	0.0	送電 18.0
四国	27.4%	37.9	0.0	送電 48.7
九州	31.4%	106	0.0	送電 30.4
沖縄	12.4%	3.7	0.0	—



2026年7月14日の供給実績

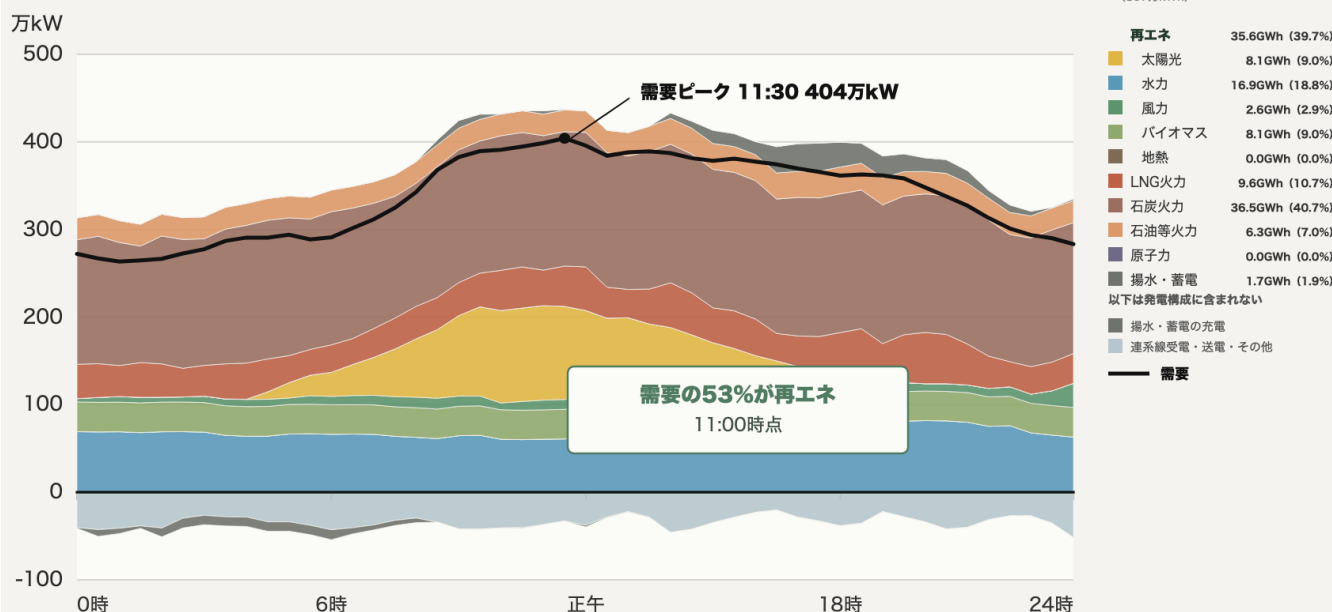
北海道エリア

再エネ

35.6GWh

(発電電力量ベース39.7%)

北海道エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

89.7GWh

需要ピーク

11:30、404万kW

連系線・その他

8.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク108万kW、風力ピーク28万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.4%だった。



2026年7月14日の供給実績

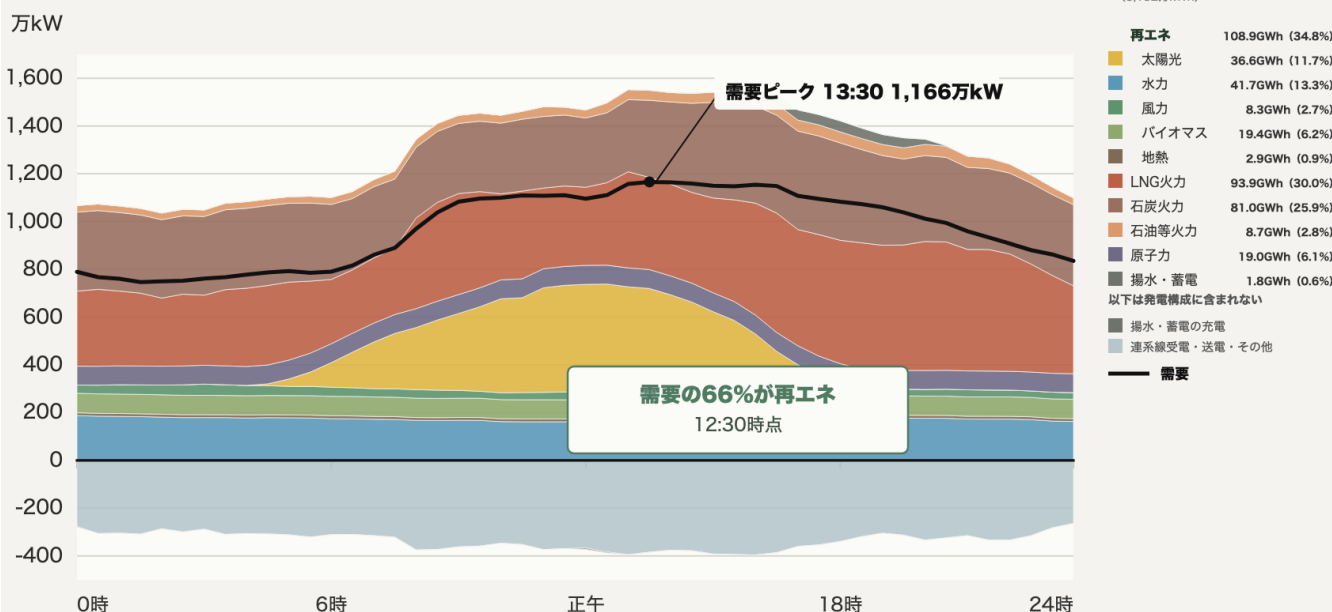
東北エリア

再エネ

108.9GWh

(発電電力量ベース34.8%)

東北エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

313.2GWh

需要ピーク

13:30、1,166万kW

連系線・その他

80.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク447万kW、風力ピーク47万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.3%だった。



2026年7月14日の供給実績

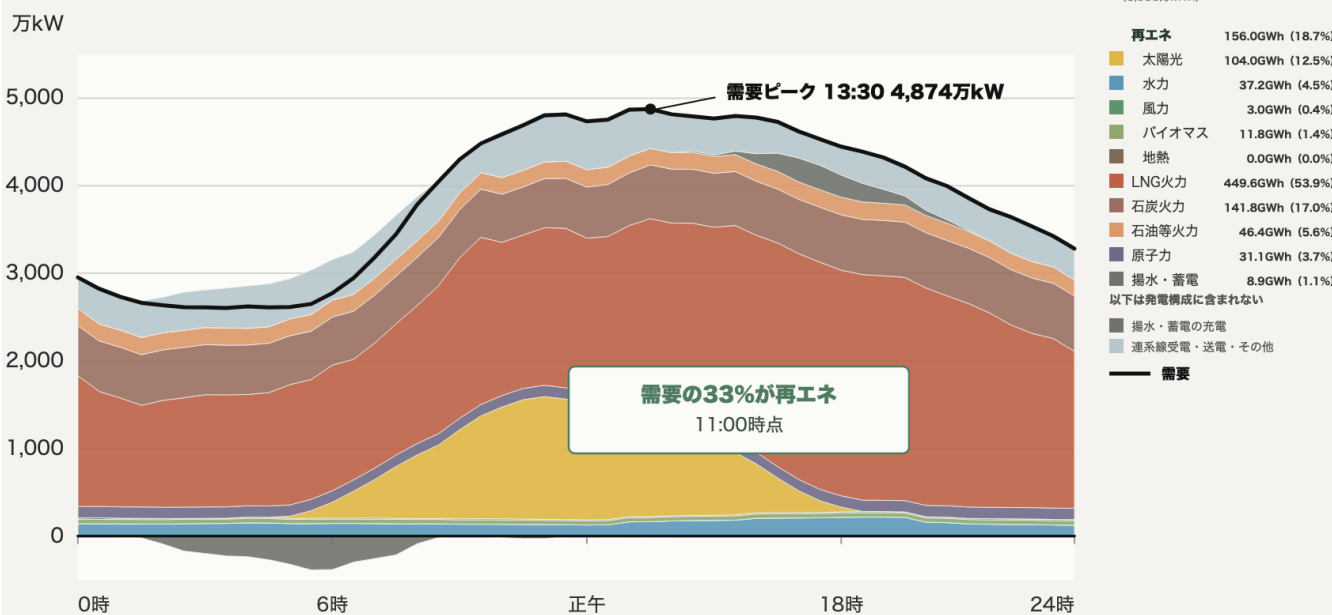
東京エリア

再エネ

156.0GWh

(発電電力量ベース18.7%)

東京エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

833.8GWh

需要ピーク

13:30、4,874万kW

連系線・その他

102.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電

16.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,401万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は33.2%だった。



2026年7月14日の供給実績

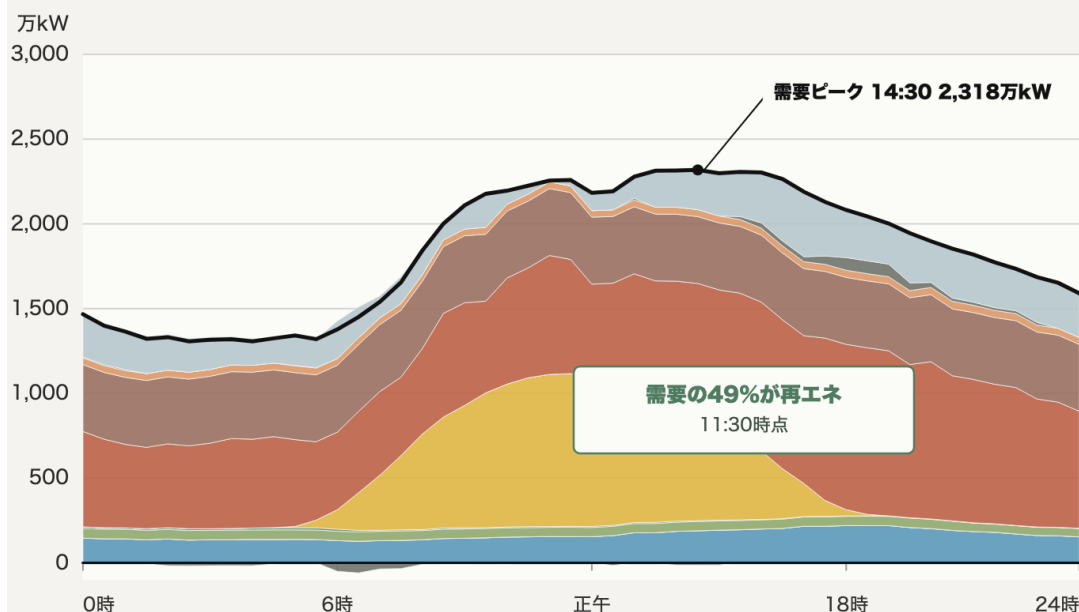
中部エリア

再エネ

125.9GWh

(発電電力量ベース32.0%)

中部エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 394GWh
(3,939万kWh)

再エネ	125.9GWh (32.0%)
太陽光	71.8GWh (18.2%)
水力	39.6GWh (10.1%)
風力	1.5GWh (0.4%)
バイオマス	13.0GWh (3.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	160.7GWh (40.8%)
石炭火力	94.7GWh (24.0%)
石油等火力	9.8GWh (2.5%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	2.9GWh (0.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

393.9GWh

需要ピーク

14:30、2,318万kW

連系線・その他

49.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

1.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク901万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は50.4%だった。



2026年7月14日の供給実績

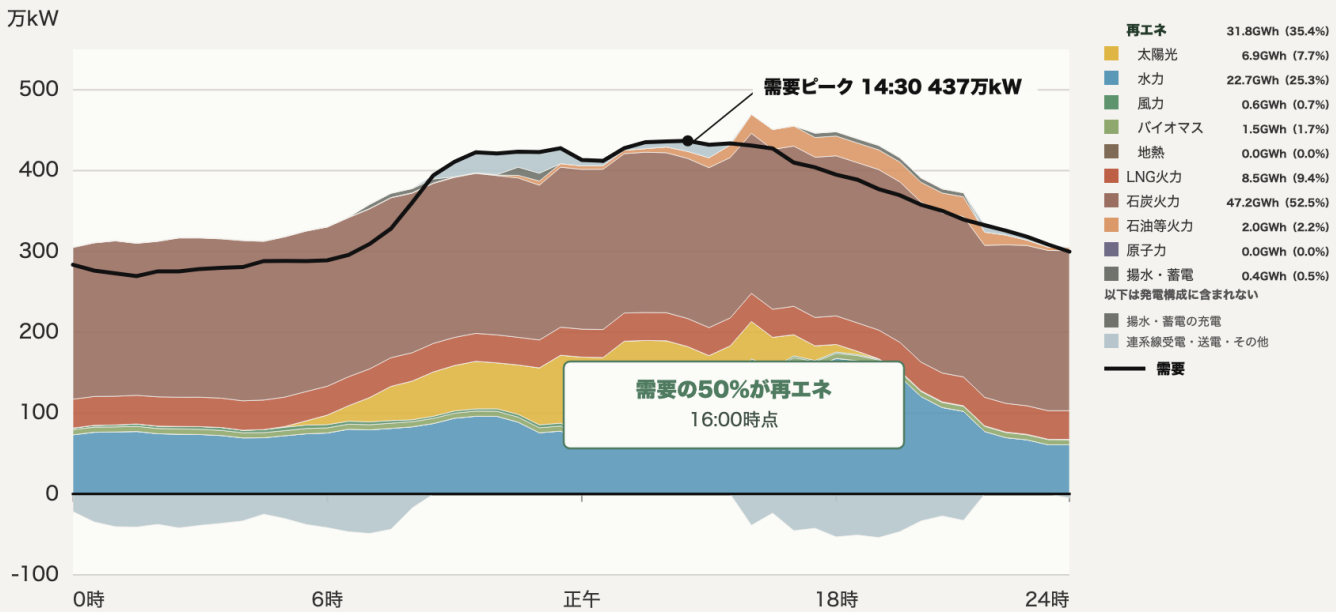
北陸エリア

再エネ

31.8GWh

(発電電力量ベース35.4%)

北陸エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

89.8GWh

需要ピーク

14:30、437万kW

連系線・その他

5.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク93万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は49.5%だった。



2026年7月14日の供給実績

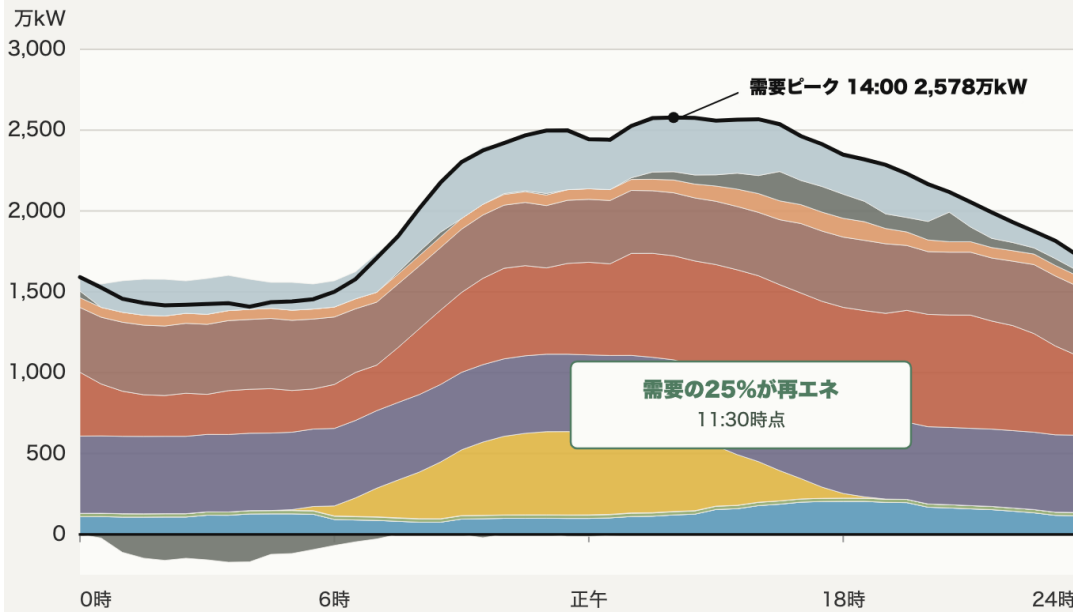
関西エリア

再エネ

77.8GWh

(発電電力量ベース17.7%)

関西エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 439GWh

(4,394万kWh)

再エネ	77.8GWh (17.7%)
太陽光	41.8GWh (9.5%)
水力	31.0GWh (7.1%)
風力	0.2GWh (0.1%)
バイオマス	4.8GWh (1.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	120.5GWh (27.4%)
石炭火力	97.8GWh (22.3%)
石油等火力	17.8GWh (4.0%)
原子力	114.9GWh (26.1%)
揚水・蓄電	10.6GWh (2.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

439.4GWh

需要ピーク

14:00、2,578万kW

連系線・その他

58.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク516万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.8%だった。



2026年7月14日の供給実績

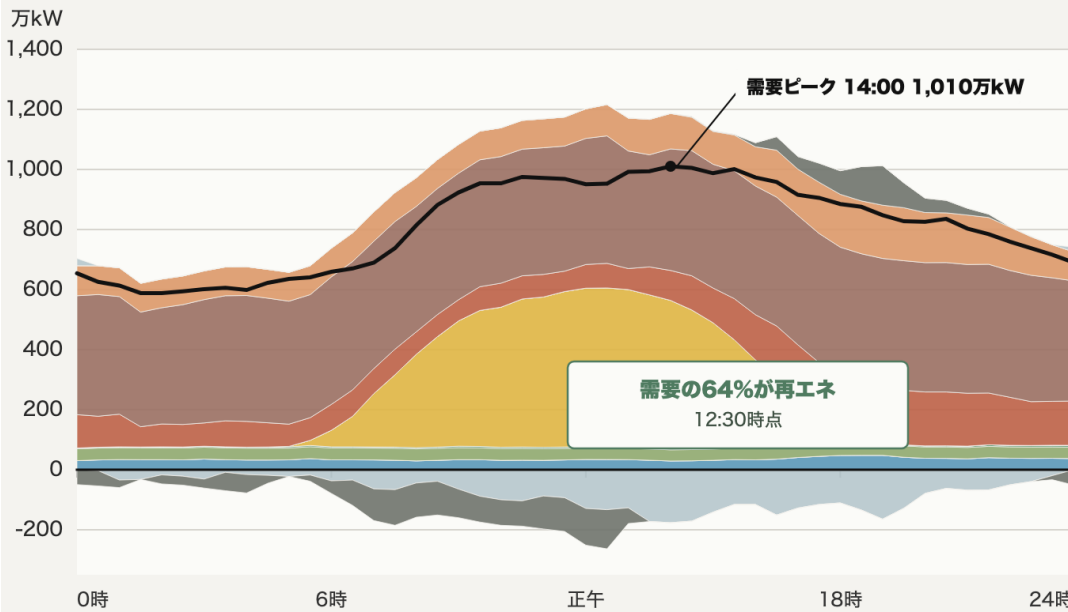
中国エリア

再エネ

62.5GWh

(発電電力量ベース28.2%)

中国エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

221.5GWh

需要ピーク

14:00、1,010万kW

連系線・その他

18.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク530万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.6%だった。



2026年7月14日の供給実績

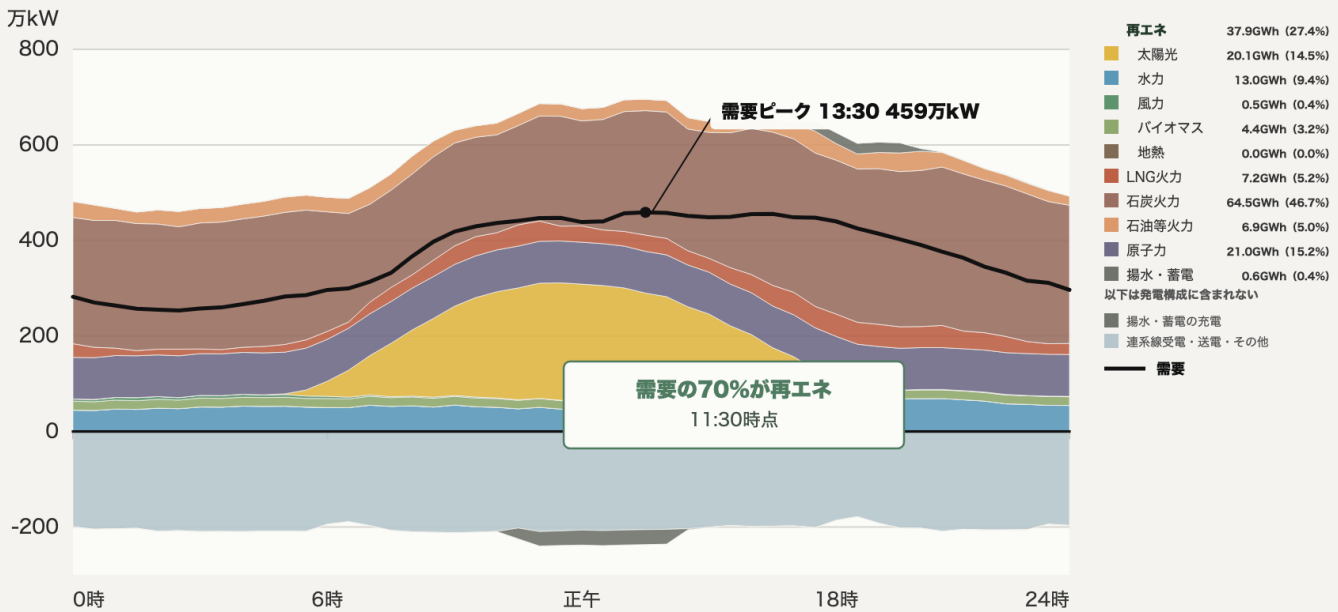
四国エリア

再エネ

37.9GWh

(発電電力量ベース27.4%)

四国エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

138.2GWh

需要ピーク

13:30、459万kW

連系線・その他

48.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク246万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は70.4%だった。



2026年7月14日の供給実績

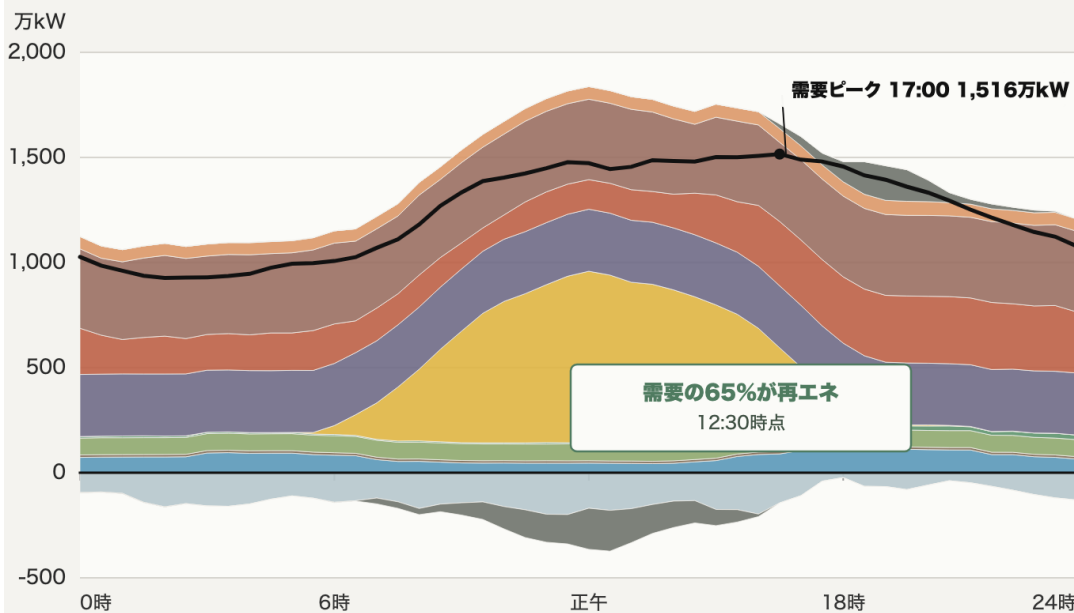
九州エリア

再エネ

106.3GWh

(発電電力量ベース31.4%)

九州エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 339GWh
(3,386万kWh)

再エネ	106.3GWh (31.4%)
太陽光	63.8GWh (18.8%)
水力	18.1GWh (5.4%)
風力	2.4GWh (0.7%)
バイオマス	19.3GWh (5.7%)
地熱	2.7GWh (0.8%)
LNG火力	51.3GWh (15.1%)
石炭火力	90.9GWh (26.9%)
石油等火力	14.6GWh (4.3%)
原子力	70.8GWh (20.9%)
揚水・蓄電	4.6GWh (1.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

338.6GWh

需要ピーク

17:00、1,516万kW

連系線・その他

30.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク815万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.1%だった。



2026年7月14日の供給実績

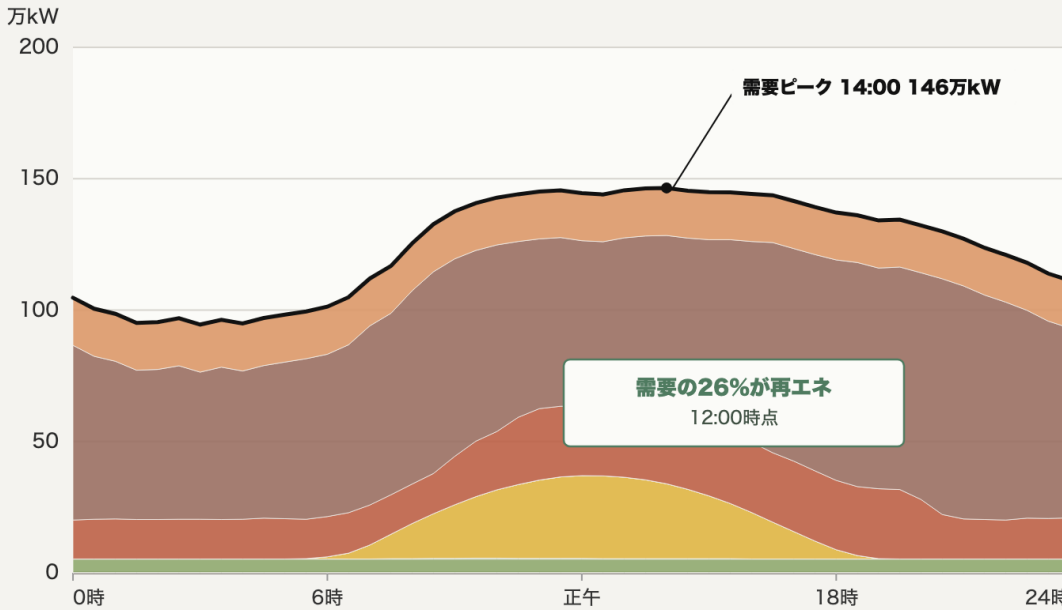
沖縄エリア

再エネ

3.7GWh

(発電電力量ベース12.4%)

沖縄エリア 2026年7月14日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 30GWh

(299万kWh)

再エネ	3.7GWh (12.4%)
太陽光	2.4GWh (8.1%)
水力	0.0GWh (0.1%)
風力	0.0GWh (0.1%)
バイオマス	1.2GWh (4.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	4.8GWh (16.2%)
石炭火力	17.0GWh (56.8%)
石油等火力	4.3GWh (14.5%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.0GWh (0.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.9GWh

需要ピーク

14:00、146万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク32万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.6%だった。